

## 防災意識及び大規模災害発生時の行動について

### ■アンケートの趣旨

名古屋市は、今後発生が危惧されている南海トラフ巨大地震や、近年の気候変動の影響により大型化する台風や集中豪雨などの大災害に備え、市全体の防災対策を総合的かつ計画的に推進していくとともに、地域防災力の強化を図っております。このアンケートでは、市民の皆さまが防災意識や大規模災害発生時の行動などに対してどのような認識を持っているかをおたずねし、把握することで、今後の施策推進のため参考とさせていただきます。

### ■説明・前提条件

Q1：必須 ・選択数1つ	Q2：Q1の選択による ・選択制限なし	Q3：Q1の選択による ・選択制限なし	Q4：必須 ・選択制限なし
Q5：必須 ・選択制限なし	Q6：必須 ・選択数1つ	Q7：Q6の選択による ・選択制限なし	Q8：必須 ・選択数1つ
Q9：必須 ・選択数1つ	Q10：必須 ・選択制限なし	Q11：必須 ・選択制限なし	Q12：必須 ・選択数1つ
Q13：必須 ・選択数3つまで	Q14：任意 ・自由記載		

- ▶ 年代・居住区・性別の属性は事前に登録されたモニターの属性から取得
- ▶ 比率はすべて、各質問の回答者数に対するパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出（このため、合計が100%にならないことがある）
- ▶ 複数回答が可能な質問については、各項目の比率の合計は通常100%を超える

### ■アンケート実施期間

令和4年1月14日（金） から 令和4年1月24日（月）まで

### ■モニター数・アンケート回答数

対象モニター数： 500人 回答数： 454人 有効回収率： 90.8%

### ■問い合わせ先

調査テーマに関すること  
防災危機管理局 危機対策室

電話：052-972-3526 FAX：052-962-4030  
E-Mail：a3526@bosaikikikanri.city.nagoya.lg.jp

調査概要に関すること  
スポーツ市民局 広聴課

電話：052-972-3140 FAX：052-972-3164  
E-Mail：net-moni01@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp

# 回答集計

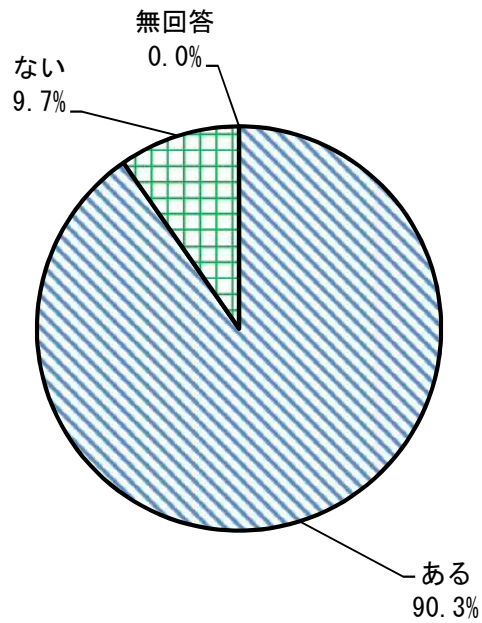
※各図表の「N」は、回答者数を表しています。

【すべての方におたずねします。】

## <防災への意識について>

Q 1 【※必須】あなたは、災害に対して準備していることはありますか。（選択は1つ）

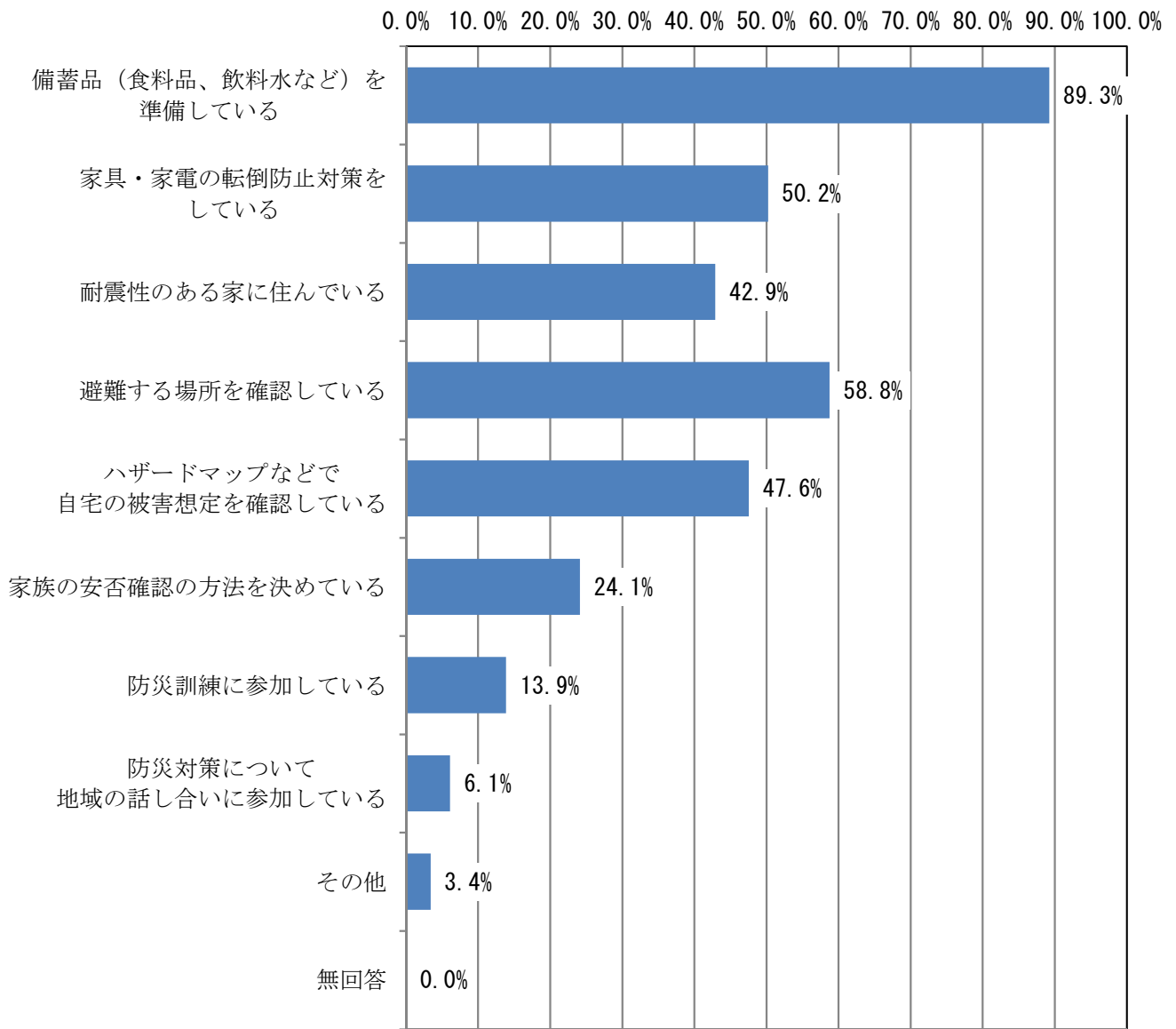
N = 454



【Q2は、Q1で災害に対して準備していることは「ある」と答えた方におたずねします。】

Q2 あなたが、災害に対して準備していることは何ですか。（選択はいくつでも）

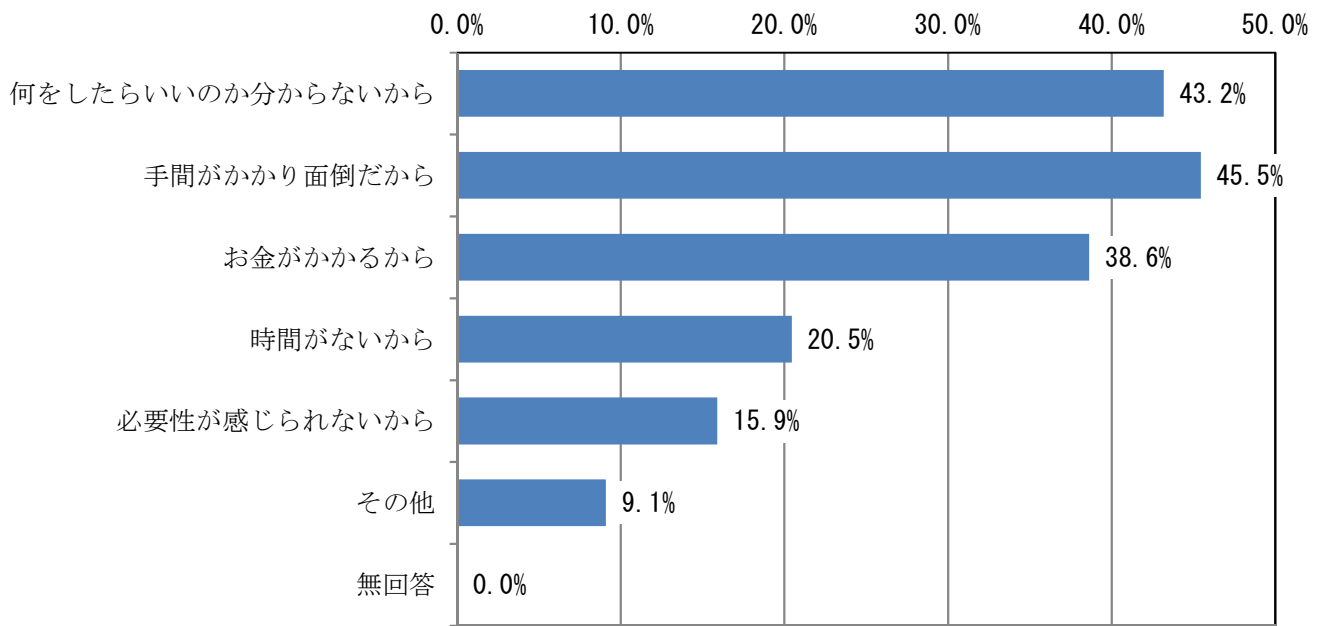
N=410



【Q3は、Q1で災害に対して準備していることは「ない」と答えた方におたずねします。】

Q3 あなたが、災害に対して準備していることがない理由は何ですか。(選択はいくつでも)

N=44



【すべての方におたずねします。】

＜大規模災害発生時の情報収集について＞

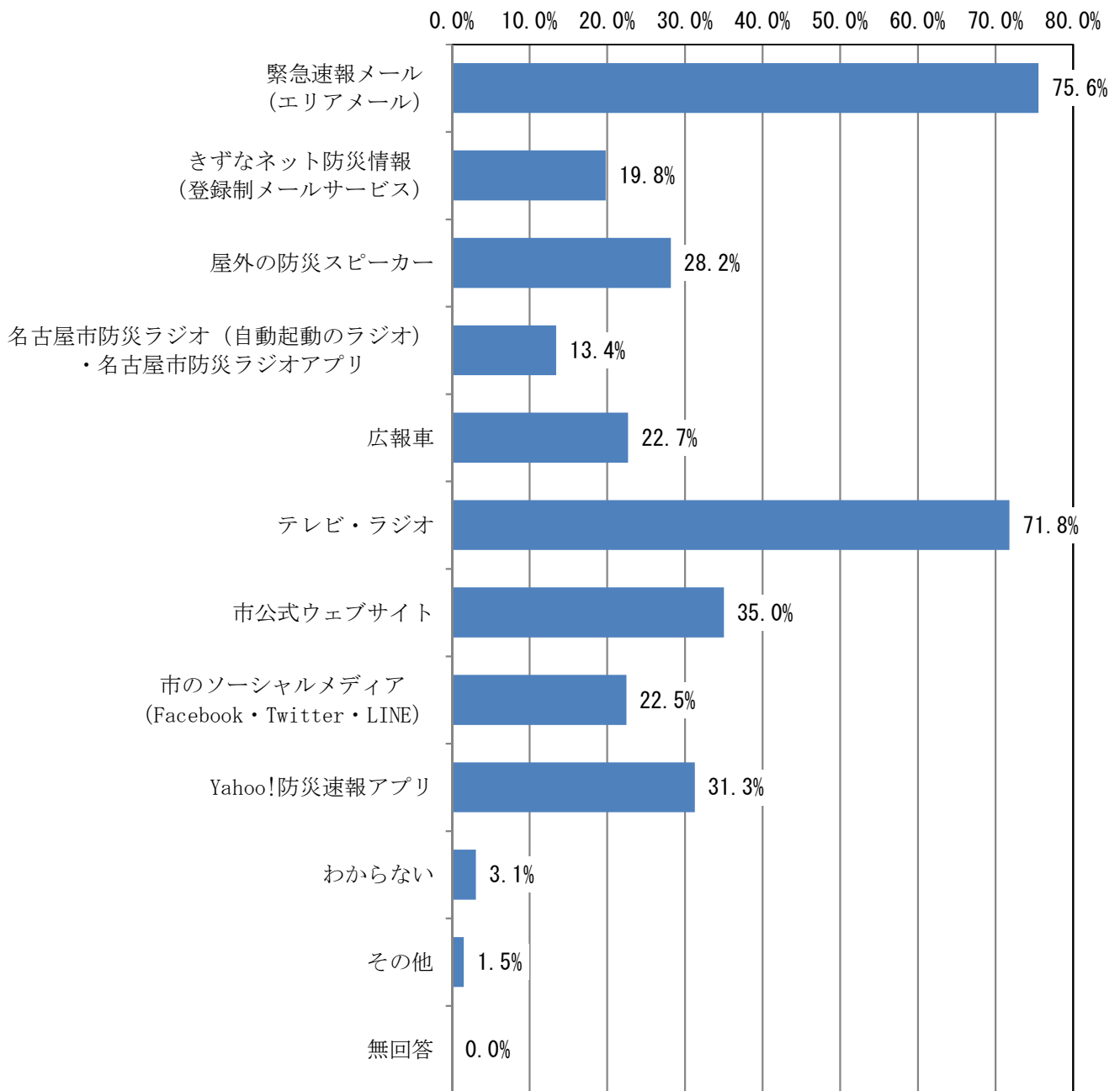
名古屋市では、大規模災害が発生した場合または発生するおそれのある場合に、発信する情報の内容やタイミングに応じ、様々な手段で情報を発信します。

災害発生のおそれがある場合に発令される避難情報（避難指示、高齢者等避難）については、多くの方に迅速にお知らせするため、緊急速報メールや防災スピーカーなどでお知らせしています。

関連リンク：[名古屋市からの防災情報の入手について（名古屋市公式ウェブサイト）](#)

Q4【※必須】あなたは、災害発生のおそれがあるなど、市からの避難情報を受け取る場合に、どのような手段を利用しますか。（選択はいくつでも）

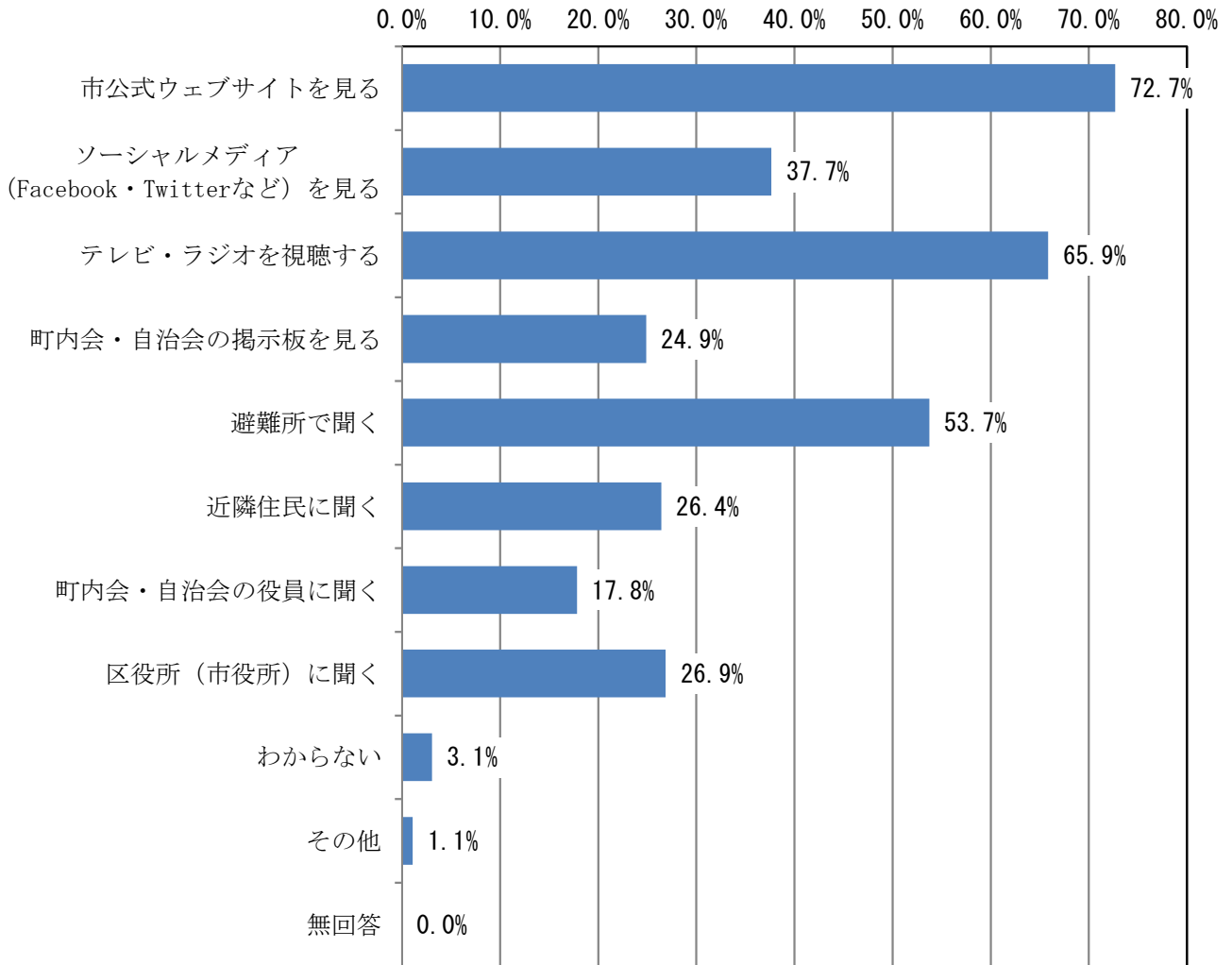
N=454



災害が発生し被災された方がいる場合や避難所が開設された場合には、避難所の情報や救援物資などの支援情報をきめ細やかに伝えるため、市公式ウェブサイトなどで情報を公開します。

Q5【※必須】災害が発生し、自身が被災した場合に、避難所の情報や救援物資などの支援情報を得たいと考えたとき、どのような方法をとりますか。（選択はいくつでも）

N=454



### <帰宅困難者対策について>

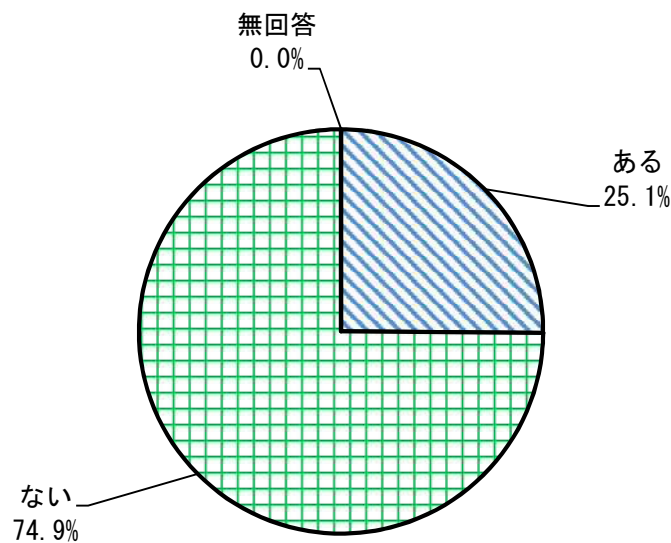
2011年に発生した東日本大震災では、首都圏を中心に、公共交通機関が運転見合わせとなったことで多数の帰宅困難者が発生し大きな混乱となりました。そうした教訓を踏まえ、名古屋市では、帰宅困難者が発生した場合に備え、様々な対策を行っています。

また、ご自身が帰宅困難者になった場合に備えて、通勤・通学先での備蓄品の準備、徒歩帰宅する場合の帰宅経路の確認などを行うことも必要です。

関連リンク：[名古屋市帰宅困難者支援サイト（名古屋市公式市ウェブサイト）](#)

Q6【※必須】あなたは、帰宅困難者になった場合に備え、準備していることがありますか。  
(選択は1つ)

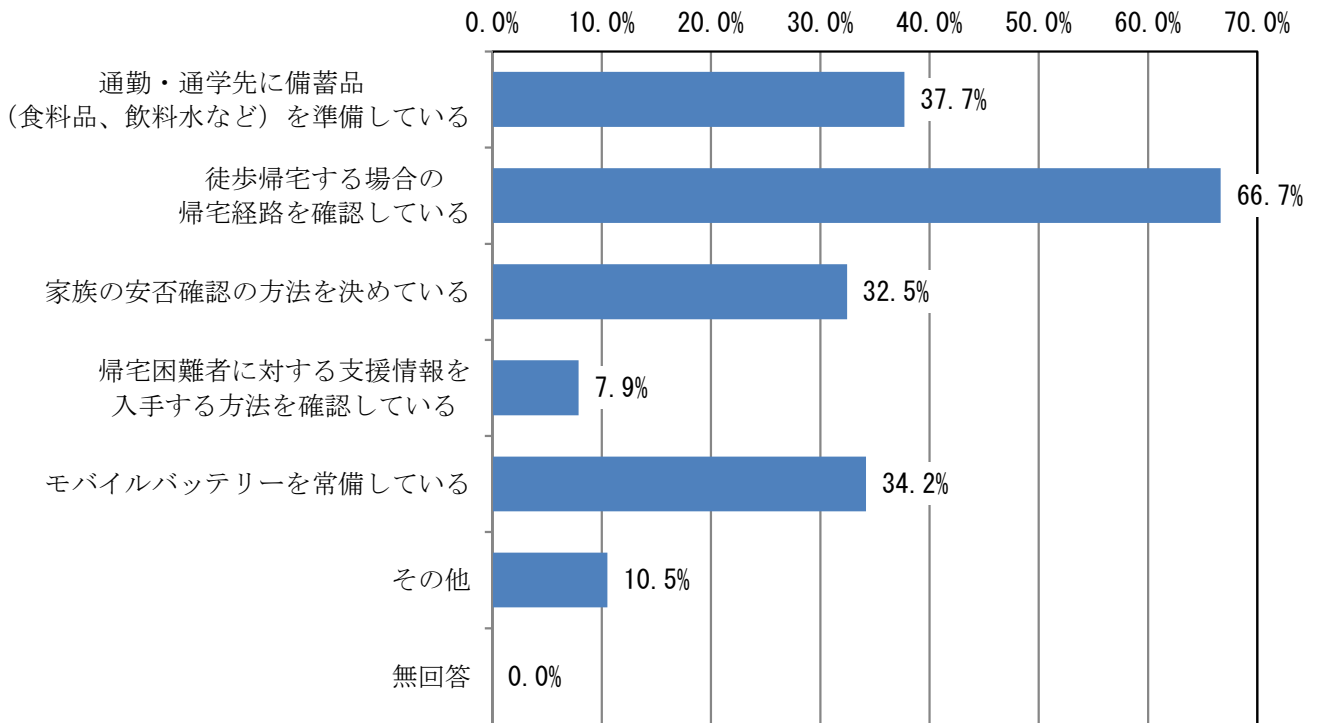
N=454



【Q7は、Q6で帰宅困難者になった場合に備え準備していることが「ある」と答えた方におたずねします。】

Q7 ご自身が帰宅困難者になった場合に備え、あなたが準備していることは何ですか。（選択はいくつでも）

N=114

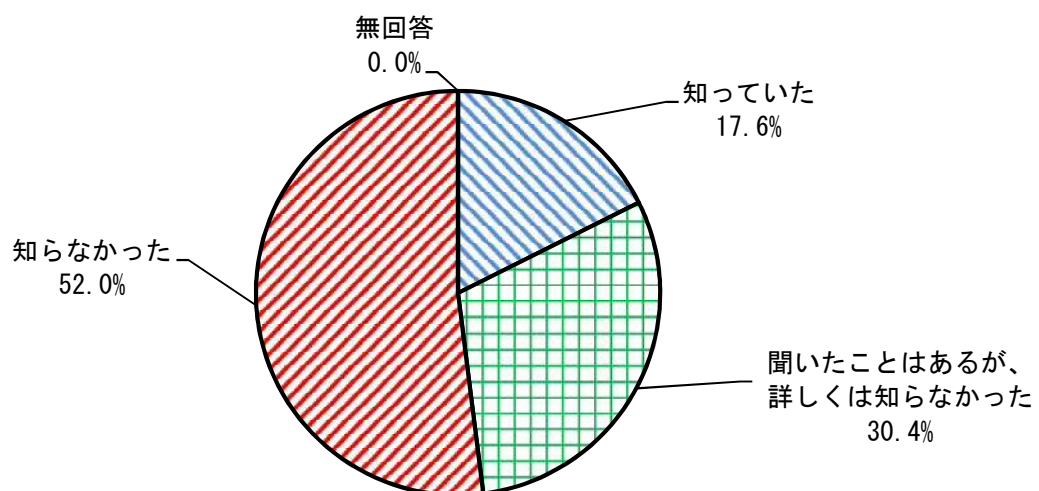


○一斉帰宅の抑制について

一斉帰宅の抑制とは、大規模地震発生時に多くの人が一斉に帰宅を始めると、駅や道路が混雑して大変危険なため、むやみに移動せず、まずは落ち着いてその場に留まり、状況を確認するという考え方です。帰宅困難者対策においては、一斉帰宅の抑制が特に重要となります。

Q8 【※必須】あなたは、一斉帰宅の抑制について知っていましたか。（選択は1つ）

N=454



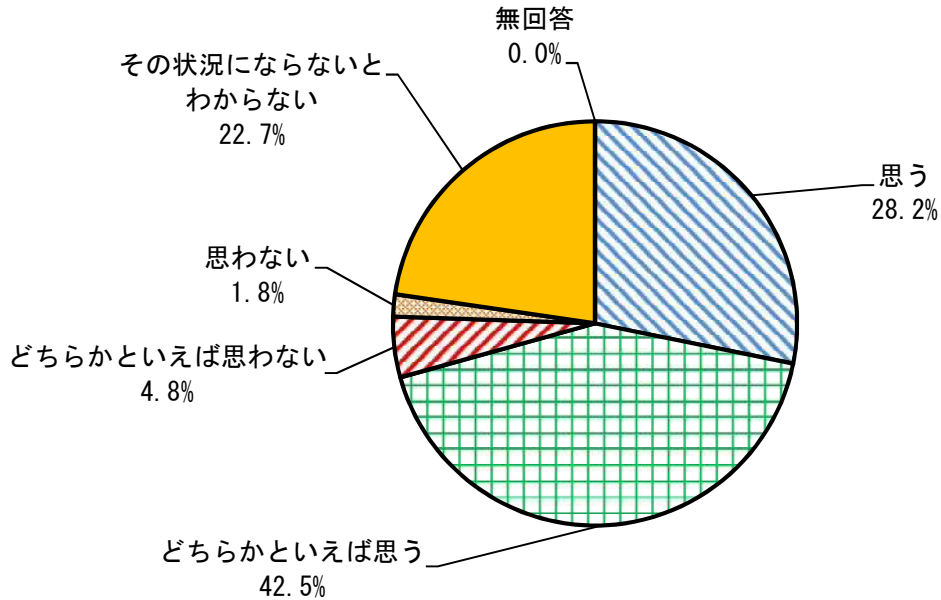


### <大規模災害発生時における避難支援について>

大規模災害発生時には、高齢者や障害のある方など、自らで避難することが難しい方もいます。名古屋市では自ら避難することが難しい方の手助けを、どのように地域の皆様に担っていただけるかが課題だと考えています。

Q9【※必須】あなたが在宅中に大規模災害が発生した場合、お住いの近くに住む避難の手助けが必要な方を手助けしようと思いませんか。(選択は1つ)

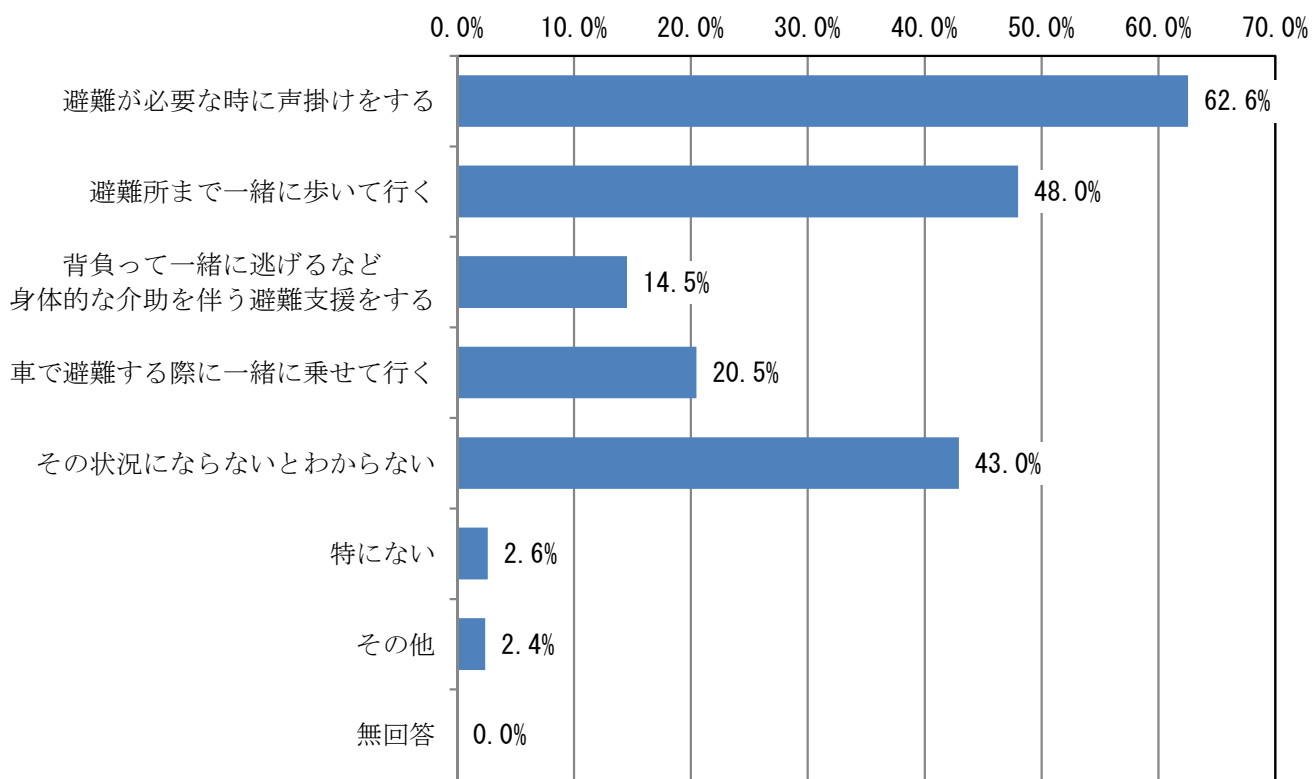
N=454



避難の手助けは、一緒に避難していただくだけでなく、避難が必要な時に声掛けをするなど様々あります。

Q10【※必須】避難する際、避難の手助けが必要な方にどのような支援ができますか。（選択はいくつでも）

N = 454

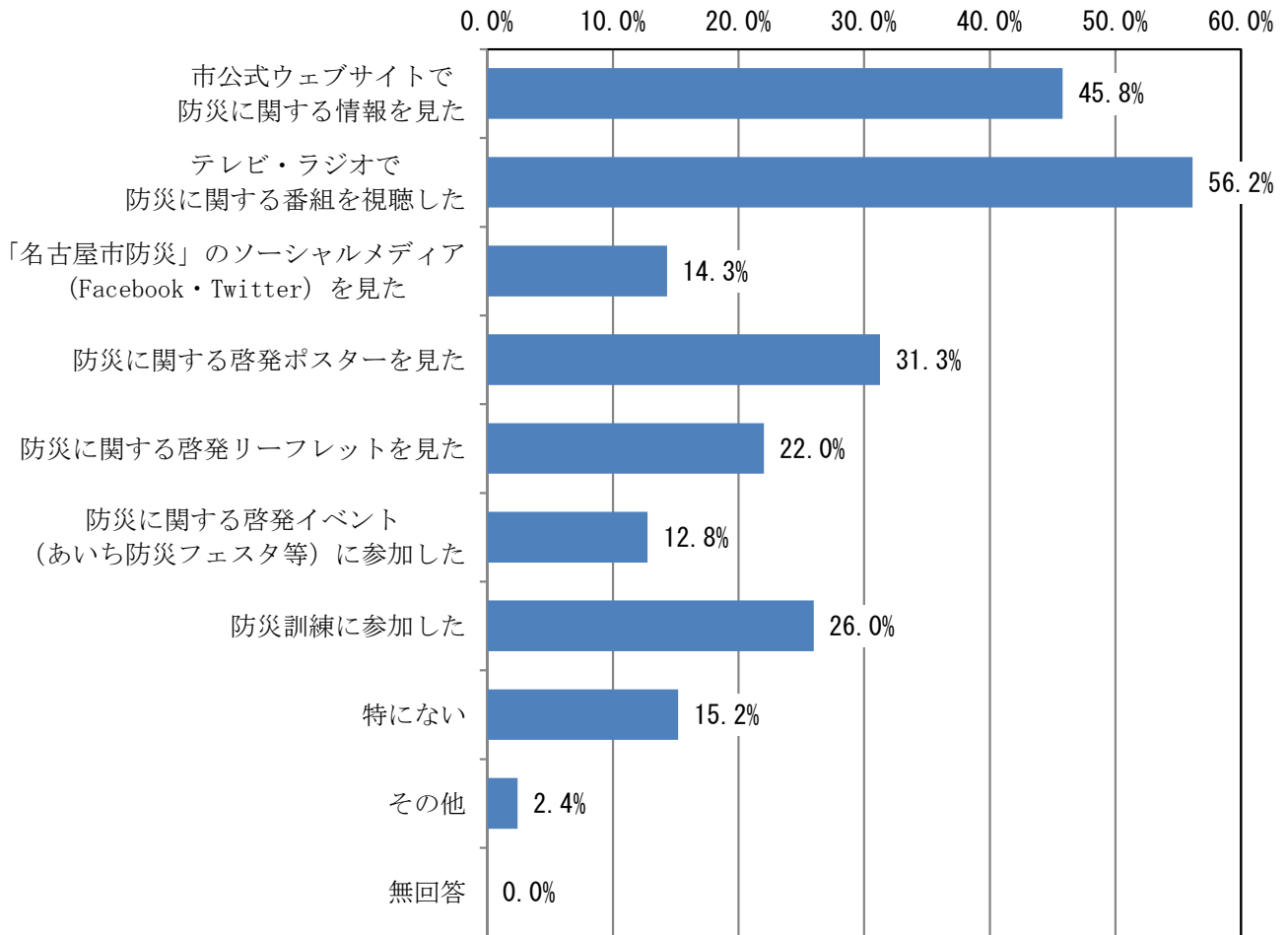


## <防災啓発について>

名古屋市では、市民の皆様の防災意識の高揚、防災知識の普及を目指し、防災に関する啓発として様々な取り組みを行っています。

Q11【※必須】防災に関する啓発について、過去に見たこと、経験したことがあるものは何ですか。（選択はいくつでも）

N = 454



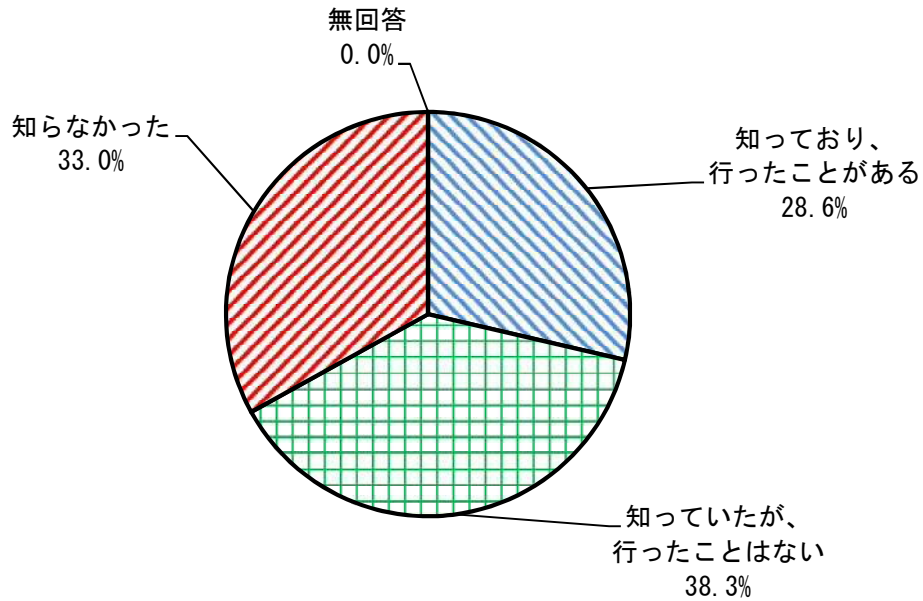
### <名古屋市港防災センターについて>

名古屋市港区には、市民の皆様への防災意識の普及啓発のため、名古屋市防災センターを設置しており、災害に関する体験施設や説明を展示しているほか、定期的にイベントなどを開催しています。

関連リンク：[名古屋市港防災センターについて（市公式ウェブサイト）](#)

Q12【※必須】あなたは、名古屋市港防災センターという防災学習施設があることを知っていましたか。（選択は1つ）

N=454

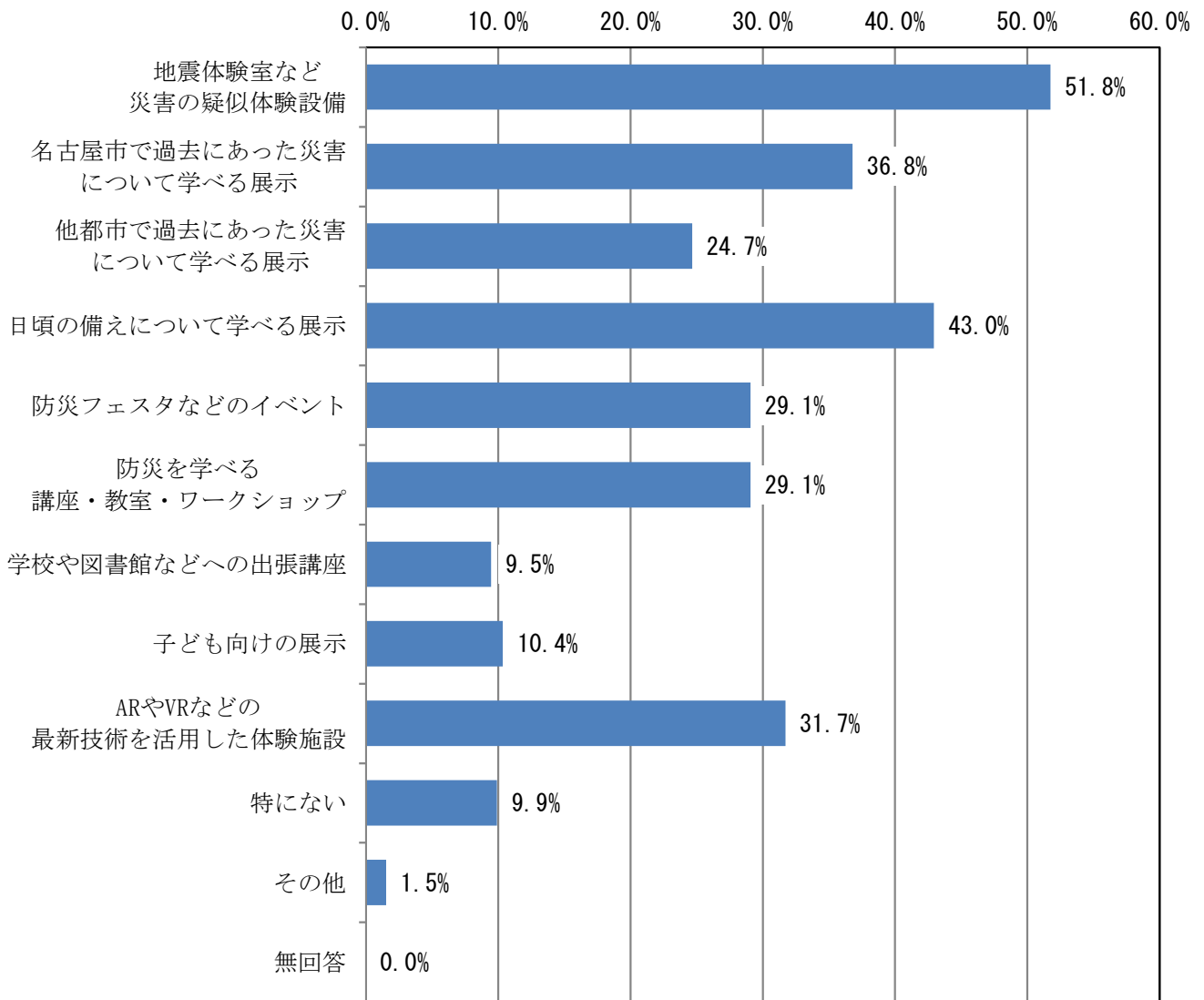


**Q13【※必須】防災に関する学習で、あなたが興味のあるものは何ですか。(選択は3つまで)**

AR (Augmented Reality) とは…一般に「拡張現実」と訳される。スマートフォンやタブレット端末などの機器を使用し、現実世界に CG を重ねて映し出す技術。

VR (Virtual Reality) とは …一般に「仮想現実」と訳される。閉鎖された視界に CG を投影し、自分が仮想世界にいるかのような体験ができる技術。

N = 454



Q14 名古屋市の防災に関する取り組みについてご意見があればご記入ください。(自由意見)

N=158

- ・ コロナ禍で難しいとは思いますが、また防災の日などに参加型の防災訓練など行って欲しいなと思いました
- ・ 行政と地域住民が密接に情報共有をし、防災訓練等や啓発を通し災害があったときのどう行動するのか 一人一人の自覚が必要だと思います
- ・ 1959年の伊勢湾台風、特に高潮被害のことは忘れられません  
後世に語り伝えていかなければならないと常々思っています  
陸前高田市との連携により自然災害の恐ろしさを切実に感じる事ができていると考えます
- ・ 若者世代にはなかなか周知できていないので SNS などの取り組みを強化したほうが良いと思います。
- ・ 災害時の命を守る行動は、自身で判断すること。そのための事前情報を市が提供している事を市民に自覚を促すことが必要です。

ほか

## ■属性集計

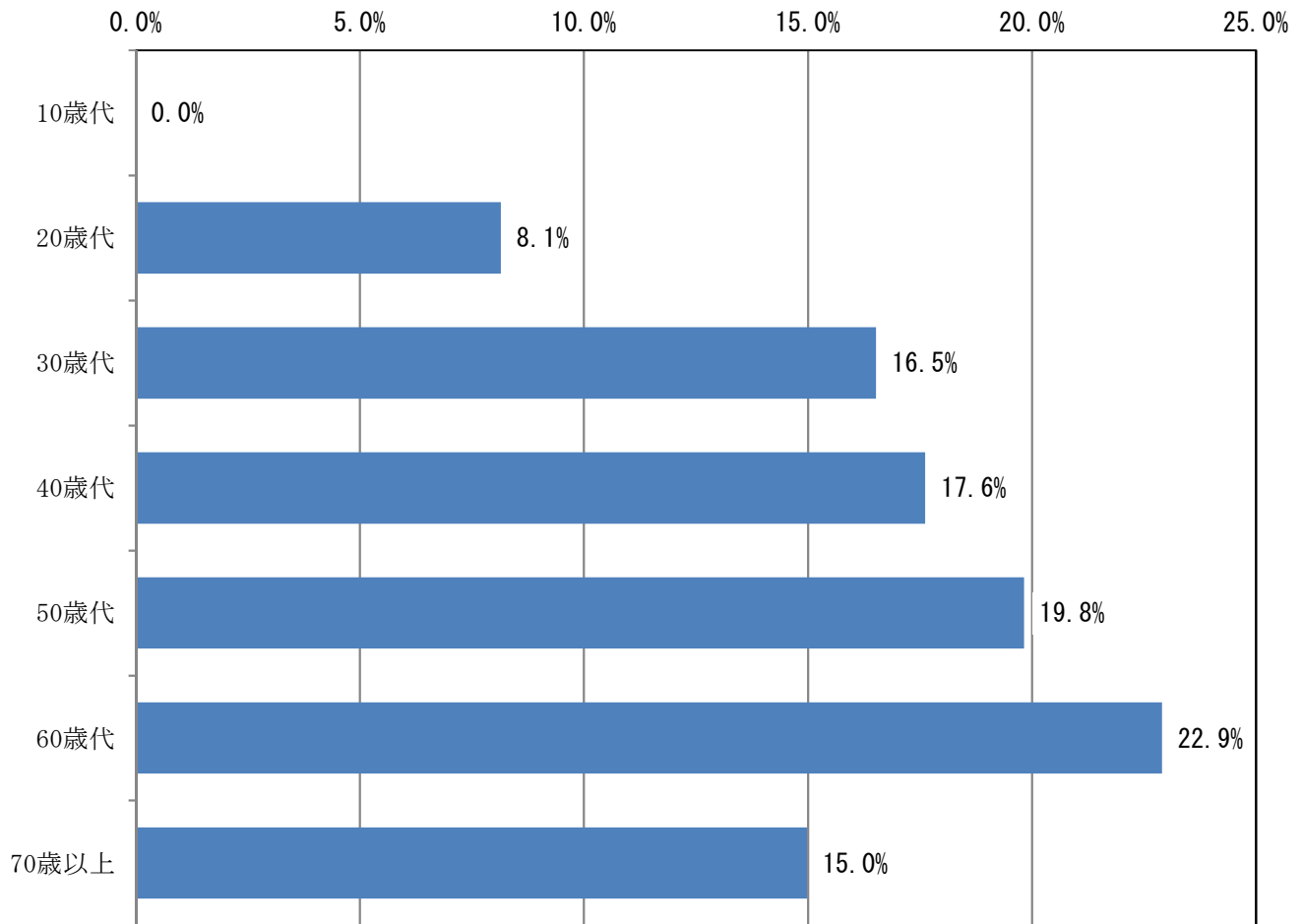
### 性別

	全体	男性	女性
%	100.0%	52.6%	47.4%
回答者数	454	239	215



### 年代

	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
%	100.0%	0.0%	8.1%	16.5%	17.6%	19.8%	22.9%	15.0%
回答者数	454	0	37	75	80	90	104	68



居住区

	全体	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区
%	100.0%	6.2%	3.7%	8.6%	5.3%	6.2%	4.0%
回答者数	454	28	17	39	24	28	18
		昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区	南区
		5.3%	6.2%	3.1%	7.7%	5.1%	5.3%
		24	28	14	35	23	24
		守山区	緑区	名東区	天白区		
		8.4%	10.4%	7.3%	7.5%		
		38	47	33	34		

